

週 報

Rotary
東京本郷ロータリークラブ



2021-2022 年度 国際ロータリーテーマ 「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
東京本郷ロータリークラブテーマ「安心・革新・前進」(3つのしん)

創立/平成3年3月13日(1991年)

事務局/〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-9-6-905 電話:03-3238-5350 FAX:03-3238-5352

インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: office@t-hongo-rc.gr.jp

例会:毎週水曜日12時30分 例会場:ホテルメトロポリタンエドモント 電話:03-3237-1111

〒102-8130 東京都千代田区飯田橋3-10-8

会長:熊井 寛 副会長:井田吉則 会長エレクト:廣瀬英昭 幹事:星野大記 会報委員長:中西文太

第1386回例会

2021年8月18日発行 (No. 1332)

本日の卓話(8月18日)

オンライン例会

「いにしえスピーチ」

小出 豊 会員

米倉伸三 会員

次回の卓話(8月25日)

オンライン例会

「夢を諦めない」

1976 モントリオールオリンピック
女子バレーボール金メダリスト

白井 貴子 様

紹介者 渡辺新吉会員

8月11日 第1385回例会報告

オンライン例会

「新型コロナワクチンと接種について
経営者が知っておきたいこと」

(株)日本産業医支援機構

統括執行役員 佐藤 典久 様

紹介者 渡辺新吉会員



典久 佐藤

卓話をされる佐藤典久様

理事会報告

1. 杉崎眞弥会員について、8月に会員公示期間を終了したが、ご本人の希望により、9月からの入会となった。
新会員候補者 杉山和也氏の入会が承認され、会員公示となった。
新会員候補者 市倉 泰氏は、緊急事態宣言解除後に面談予定となった。
入会希望の渡部氏と会長幹事が面談したが、毎週の例会参加は難しいとのことで申込み辞退の報告があった。
2. ガバナー公式訪問・5大目標については、それぞれの担当委員長が発表することが決定した。
尚、9月29日はエドモントでのリアル例会を予定しているが、緊急事態宣言が発出された場合の対応について、確認することとなった。
3. 余剰金について、継続会員は相殺処理、退会会員は返金し、返金後の端数差額はニコニコに入れることが承認された。
4. ロータリー歴史年表購入の100部購入が承認された。
会員へ1部配布。残部は事務局で保管し、新会員へ配布することが決まった。
5. 元米山奨学生 カムピラー、アイラダーさんが所属しているタイ米山学会へ¥10,000を支援することが承認された。

※一部抜粋

会長報告

1. 緊急事態宣言が8月末まで延長となりました。
8月25日例会はハイブリット例会を予定していましたが、オンライン例会と変更することとなりましたので、お知らせいたします。
後日、改めてご案内をさせていただきます。

幹事報告

1. 8月のロータリーレートは1ドル＝110円となります。
2. 10月5日(火)に開催される「北分区合同例会(インターシティミーティング)のチラシが届きました。今年度は、出席人数を限定しハイブリットでの開催です。
当クラブは6日(水)を移動例会としていますので、ご参加いただきますようお願い致します。
チラシは、ロータリーの友誌とあわせて郵送いたします。
3. 8月例会の「特別措置出席規定の免除適用願い」を配信いたしました。
4. 来週8月11日は休会です。
また、事務局は8月9日～13日まで夏季休暇となりますので、ご留意下さい。

出席

会員数：48名 出席数：23名 欠席数：4名
出席免除者数：3名 特別措置出席免除者数：18名
出席率：85.19%
7月14日修正後出席率：80.00%
クラブゲスト：佐藤典久様(卓話講師)

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ニコニコBOX

* 土井康嗣会員

誕生日祝い、ありがとうございます。



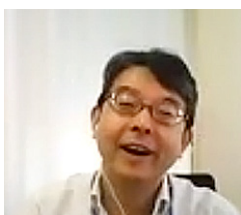
* 熊井 寛会員

誕生日祝い有難うございます。65歳になりました。昨日の誕生日に見た夢の中では、私はまだ大学生でした。明日は早朝から授業があると焦っていました。未だ成長が足りないようです。



* 河合 洋会員

誕生日祝い、ありがとうございます。



「カンパラ(ウガンダ)に新設されたロータリー平和センターに最初の平和フェローが到着し、アフリカにおける新たなロータリーの歴史が始まる」

2月の最終週、ウガンダのカンパラで15名のロータリー平和フェローがマケレレ大学に集まり、新しい平和センターの発足式が行われました。この平和センターの第一期生は11カ国から集まり、英語のほか、ルガンダ語、スワヒリ語、ズールー語などアフリカの12の言語を話します。Kampara Naalya ロータリークラブ会員で、マケレレ大学平和センターのホストエリア・コーディネーターを務めるアン・クツさんは、「多様なバックグラウンドを持ちながらアフリカの平和を共に願う彼らは、まさに多様性の中の結束を象徴しています」と話します。

これらフェローの平均年齢は40歳。新米の平和構築者ではなく、平和と開発の分野で最低5年の経験を積んだプロフェッショナルです。平和・紛争研究の確立されたプログラムを有するマケレレ大学に入学したフェローは、すでに職場や地域社会で平和や社会変革を推進する取り組みを行ってきた経験を有し、あるいはそのためのアイデアを持っています。平和センター所長のヘレン・ナンバリルワ・ンカバラさんは、「フェローは、平和構築の実践的な側面に関心をもっています。理論的なことに関心のある一般の学生とは対照的に、彼らは実践の場で物事がどのように行われるかを知りたいと感じています。彼らは変革をもたらす力です」

マケレレ大学に到着する前に、平和フェローは2週間のオンラインセッションを受けて学業を開始しました。これは、平和構築、紛争解決、開発分野におけるロータリーの新しい1年間の修了証プログラムの第1段階です(バンコクのチュラロンコン大学にある平和センターでは、これまで3カ月間の修了証プログラムを提供していましたが、今後はこの新しいモデルを採用します)。カンパラでの10週間のセッションの後、フェローは帰国し、講師や仲間のフェローと定期的に連絡を取りながら、社会変革の取り組みを開始します。その後、2022年初頭にマケレレ大学に戻り、プログラムを修了する予定です。

Rotary 誌は今年初め、カンパラへの出発を控えた平和フェロー6人に話を聞きました。アフリカの歴史・政治に関して、フェローは実に深い見識をもっています。マケレレ大学での研究を終え、学んだことを携えてアフリカ大陸中に散らばっていくフェローの姿を想像すると、アフリカの大きな可能性を感じずにはいられません。

※ロータリーWeb (<https://www.rotary.org/ja>)
ニュース&特集記事より抜粋 続きはホームページからご覧ください。

ニコニコBOX

累計

10,000円

68,000円